

類もまちまちです。ブナ林といってもブナだけが生えているわけではなく、ミズナラやアカシデ、ウリハダカエデなど他の木も多くみられますが、そのほとんどが冬になると葉を落とす落葉広葉樹です。ですから、冬の林の中は夏と比べてずっと明るくなります。ブナは6～7年に1度、たくさんの実をつけます。その年の林床では、普段あまりみかけないブナの実をたくさんみつけることができます。



142. ブナ林の中

雑木林

クヌギやコナラなど落葉広葉樹が多い林を、雑木林とよびます。その名のとおり、いろいろな木が生えています。雑木林では、落ち葉や枝、幹などを農業に利用してきた歴史があり、その結果、遷移が止められて、コナラ林などの雑木林のまま残されてきました。今ではこのような利用が少なくなり、ヤブツバキやシイ、ヒサカキなどの照葉樹がまじることも多くなるなど、雑木林のようすも少しずつ変わってきています。



143. 雑木林の中

照葉樹林

シイ類やカシ類など、葉のツヤツヤした木（照葉樹）の多い林を、特に照葉樹林とよびます。冬でも一斉に葉を落とさない常緑樹のため、一年中林の中は薄暗く、下草などが少なくスッキリとした感じがします。比較的温暖な気候を好む木が多く、古代、西日本にはこのような林が生い茂っていました。



144. 照葉樹林の中